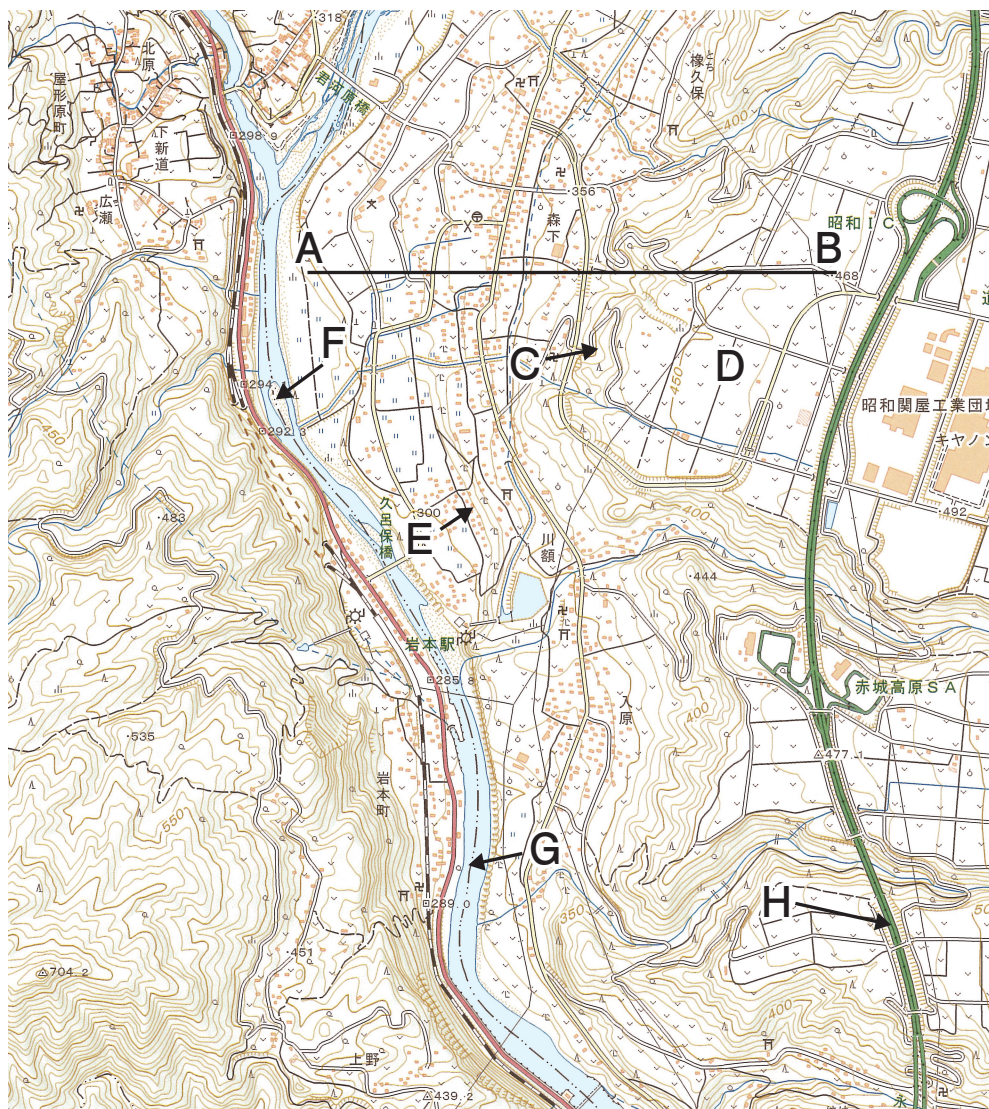


地 理

I 次の地形図をよく読んで、〔1〕～〔11〕の問いに答えよ。なお、この地形図は等倍であり、平成31年発行（平成25年図式）のものである。



〔1〕 この地形図のように、主題図とは異なり地表の事象をできるだけ網羅した地図は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。

- 〔2〕 この地形図を発行している機関はどこの省に属するか、省名を答えよ。
- 〔3〕 この地形図の作成にもちいられた投影法（図法）は何か、最も適切な名称を答えよ。
- 〔4〕 この地形図の縮尺を答えよ。
- 〔5〕 この地形図の標高は、どこの平均海水面を基準としているか、答えよ。
- 〔6〕 直線A—B間の長さは地図上で7 cm ある。この間の距離は実際には何 m になるか、答えよ。ただし、起伏は考慮しないものとする。
- 〔7〕 直線A—Bの両端の標高差（比高）はおおよそ何 m か、最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。
- ① 130 m ② 150 m ③ 170 m
- 〔8〕 C付近とD付近の地形に卓越する土地利用の説明として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。
- ① C付近には針葉樹林が、D付近には荒地が卓越する。
- ② C付近には針葉樹林が、D付近には畑が卓越する。
- ③ C付近には竹林が、D付近には荒地が卓越する。
- ④ C付近には竹林が、D付近には畑が卓越する。
- 〔9〕 E付近には、比高数十メートルの急傾斜がみられる。このような地形は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。
- 〔10〕 Fには、河川に囲まれた陸地がある。このような地形は何と呼ばれるか、最も適切な名称を答えよ。
- 〔11〕 この地形図に関する次の(1)～(4)の文で、正しいものには○印を、誤っているものには×印を記せ。
- (1) G付近の河川の右岸に、国道が通っている。
- (2) JR 線の「岩本駅」より南側は単線である。
- (3) 「岩本駅」の東西には、水力発電所が立地している。
- (4) H付近の道路は盛土によって平坦にされている。

Ⅱ 世界の貿易と投資・援助に関する次の文をよく読んで、〔1〕～〔7〕の問いに答えよ。

第二次世界大戦までは、自国産業の維持発展のために、高率の輸入関税をかけた
り、数量の制限などをおこなう、A 貿易が進んだ。しかしながら、それが世界大戦を招く一因になったとの反省から、戦後は国際的に自由貿易を促進するようになり、その規模も拡大していった。こうした中で、貿易を通じて形成される国際分業のありかたは、各国の歴史的背景や工業化の度合いに応じて変容してきた。

1960年代までは、発展途上国が農産物や原燃料・原材料などを輸出し、^(a) それらを輸入した先進国で工業製品を生産する B 分業がほとんどであった。その後、1964年に国連貿易開発会議（イ）が設置され、発展途上国の貿易・開発をめぐる経済格差の是正が目指されることとなった。1970～1980年代には、一部の発展途上国・地域における工業のいちじるしい発達、および先進国の多国籍企業による海外工場の展開を背景に、先進国間だけでなく、発展途上国間でも工業製品を輸出入する C 分業に移行している。世界の貿易をめぐる各国のありかたは大きく^(b) 変化してきたのである。

こうした戦後の国際的な自由貿易体制は、関税と貿易に関する一般協定（ロ）にもとづいてつくられた。1995年には国際貿易機関（ハ）が発足し、モノの貿易のみならず、金融・情報通信・運輸・観光などの D 貿易も対象として、より一層の自由化がはかられてきた。他方、各エリア内や各国間における連携も活発化しており、自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）の締結が進められている。

ヨーロッパでは、さまざまな経済連携・統合を経て、1993年に E 条約が発効したことで、経済・政治的統合を目指す EU が発足した。また北米では1994年に北米自由貿易協定（ニ）が、南米では1995年に南米南部共同市場（ホ）が発足した。近年では、東南アジアでも2015年に東南アジア諸国連合経済共同体（ヘ）が発足し、日本も2018年の11か国による TPP11 協定や2020年の15か国による RCEP 協定の締結^(c)にくわわるなど、経済連携に積極的な姿勢をみせている。

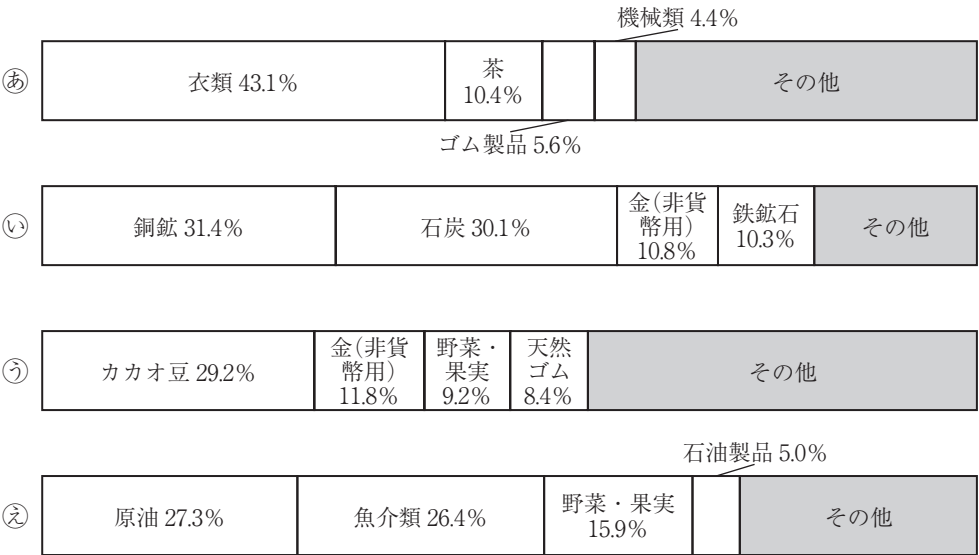
貿易以外での国家間の資金流通には、投資や援助がある。とくに日本では、民間^(d)

企業による海外企業への対外直接投資がさかんになされている。また、世界的な課題である地域格差の問題に対しては、政府開発援助（ODA）が続けられてきたが、地域ごとの援助額の割合は変化している。
 (e)

〔1〕 文中の A ～ E に当てはまる最も適切な語句または地名を答えよ。

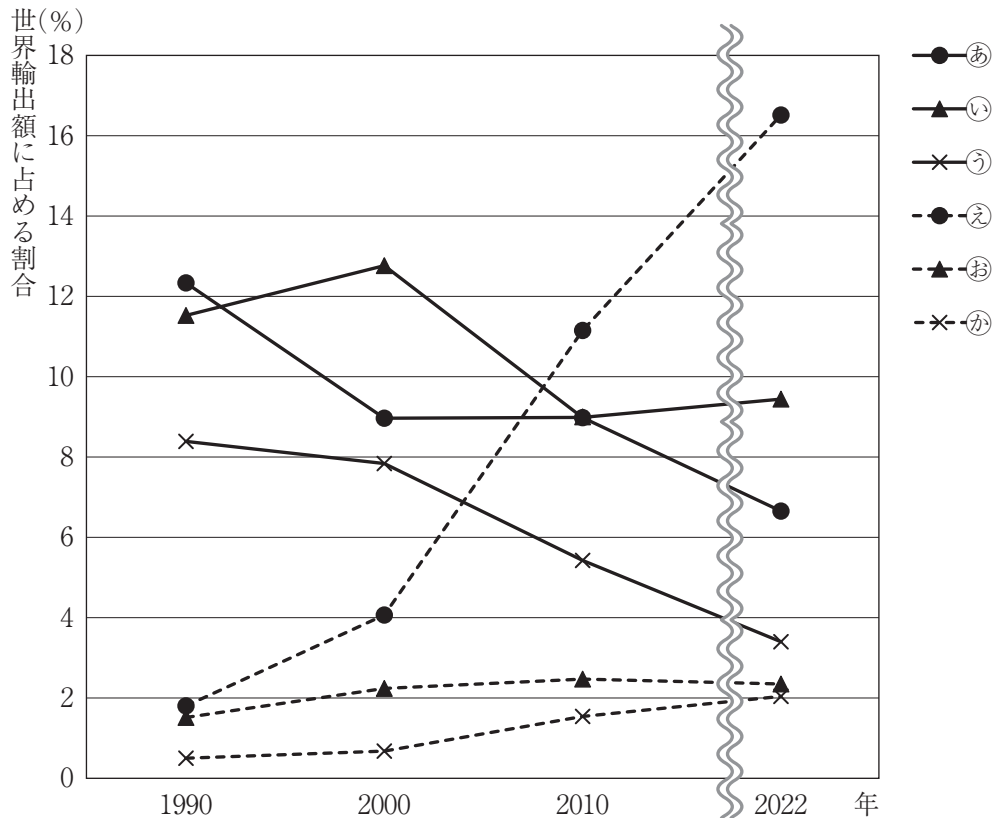
〔2〕 文中の イ ～ ヘ に当てはまる最も適切な略称をアルファベットで答えよ。

〔3〕 下線部(a)に関して、次の図はエクアドル（2021年）、コートジボワール（2020年）、スリランカ（2021年）、モンゴル（2021年）のいずれかの国の輸出額全体に占める主要輸出品目の割合を示したものである。エクアドルとスリランカに当てはまるものを、㉠～㉥の中から1つずつ選び、それぞれ符号で答えよ。



『世界国勢図会 2023/24』により作成

〔4〕 下線部(b)に関して、次の図は、アメリカ合衆国、インド、シンガポール、中国、ドイツ、日本の世界輸出額に占める各国の割合の推移を示したものである。シンガポールとドイツに当てはまるものを、図中の㉠～㉦の中から1つずつ選び、それぞれ符号で答えよ。



『世界の統計』（1994，2002，2012，2024年版）により作成

〔5〕 下線部(c)に関して、TPP11 協定の11か国と RCEP 協定の15か国の**いずれにも当てはまらない国**を、次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

- | | |
|-----------|-------|
| ㉠ アメリカ合衆国 | ㉡ 中国 |
| ㉢ ブルネイ | ㉣ ペルー |

〔6〕 下線部(d)に関して、次の表は、2023年におけるアメリカ合衆国、オーストラリア、スイス、タイのいずれかの国への日本の対外直接投資の総額と上位業種割合（製造業／非製造業における上位2業種）を示したものである。オーストラリアとスイスに当てはまるものを、表中の㉞～㉟の中から1つずつ選び、それぞれ符号で答えよ。

	㉞	㉟
総計金額（億円）	4,981	6,035
製造業における 上位2業種	電気機械器具 22.5%	電気機械器具 8.0%
	木材・パルプ 9.3%	化学・医薬 6.1%
（製造業計）	(52.2%)	(16.2%)
非製造業における 上位2業種	金融・保険業 27.1%	卸売・小売業 86.1%
	卸売・小売業 11.9%	金融・保険業 3.5%
（非製造業計）	(47.9%)	(83.8%)

	㊱	㊲
総計金額（億円）	24,989	96,213
製造業における 上位2業種	食料品 17.2%	化学・医薬 20.2%
	化学・医薬 2.4%	電気機械器具 4.4%
（製造業計）	(23.1%)	(39.1%)
非製造業における 上位2業種	鉱業 45.8%	卸売・小売業 29.4%
	卸売・小売業 10.3%	金融・保険業 15.8%
（非製造業計）	(76.9%)	(60.9%)

財務省ウェブサイト国際収支状況データ（令和5年中）により作成

〔7〕 下線部(e)に関して、次の表は、日本の政府開発援助のうち、二国間援助の地域別実績の推移を示したものである。地域①～③は、アジア、中東・北アフリカ、ヨーロッパのいずれかが当てはまる。地域①～③の組み合わせとして適切なものを、下の選択肢㉖～㉛の中から1つ選び、符号で答えよ。

年	①	北アフリカ をのぞく アフリカ	②	中南米	オセアニア	③	複数地域に またがる 援助等
1980	71.2%	10.5%	8.6%	5.8%	0.6%	0.1%	3.1%
2000	60.1%	8.6%	7.9%	8.9%	1.3%	0.6%	12.7%
2022	56.0%	8.5%	12.0%	4.6%	1.3%	4.2%	13.4%

外務省資料により作成

【選択肢】

	①	②	③
㉖	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ
㉗	アジア	中東・北アフリカ	ヨーロッパ
㉘	ヨーロッパ	アジア	中東・北アフリカ
㉙	ヨーロッパ	中東・北アフリカ	アジア
㉚	中東・北アフリカ	アジア	ヨーロッパ
㉛	中東・北アフリカ	ヨーロッパ	アジア

Ⅲ 交通に関する次の文をよく読んで、〔1〕～〔10〕の問いに答えよ。

交通手段の発達により、人々の生活における地理的な移動に要する時間は短縮されてきた。陸路、水路、空路の移動手段は、それぞれの交通網や拠点を拡充させ、人を運ぶ〔A〕輸送と、モノを運ぶ貨物輸送とが、現在はグローバルな規模で展開されている。

陸路の陸上交通には、比較的近い距離を結ぶ鉄道や自動車がある。産業革命以降にひろまった鉄道は、陸上交通における時間距離の大幅な短縮を実現し、広大な国や地域では大陸を横断する鉄道も敷設され、19世紀後半の大陸内交通ならびに経済発展に大きく寄与した。その後、欧米や日本の大都市では路面電車や地下鉄なども整備され、第二次世界大戦後になると、日本の新幹線のように都市と都市を結ぶ〔B〕鉄道も発達する。フランスのTGVや、パリとロンドンを結ぶ〔C〕などが、その代表例である。

20世紀をつうじて、自動車による移動の比重が高まった。自家用車の普及にとともに、幹線道路の〔D〕は量販店やチェーンの飲食店などが立地する商業地区となった。目につきやすい看板を出し、大規模な駐車場を備えた店舗の建ち並ぶ〔D〕の景観は、車社会の象徴となっている。また日本では、〔B〕道路のインターチェンジ付近に複数の店舗が集まる大規模な商業施設が開発されている。陸上交通をささえる道路網のひろがりや、このように商業の立地に大きな影響をおよぼしているほか、通信販売の利用増加を背景として、物流センターから戸別に商品を直接届ける〔E〕便などの物流網の発達をもうながした。

水路による移動のおもな手段は船舶であり、陸上交通の鉄道よりもはるかに長い歴史を有している。船舶は速度が遅いため、移動に要する時間はかかるものの、容量の大きい大量の物資を一度に安価で輸送することができる。近年では、貨物を入れる大型容器の〔F〕を運搬する専用の船舶が普及し、世界の航路網を行き来している。

陸上交通と水上交通の結節点となるのが港湾である。鉱産資源や農産物の産出国では、陸路と水路を結ぶ港湾が重要な役割をはたしてきた。たとえば、〔G〕の輸出量が世界第2位（2022年）のオーストラリアでは、その多くが大陸東部の山脈

地帯で産出されるため、東海岸に位置する **イ** が世界最大規模の積出港となっている。世界の主要な港湾では、**F** 専用の埠頭^{ふとう}を建設したり、大型のクレーンを設置するなどして、港湾における積み替え作業の迅速化がはかられている。

空路による移動は航空交通と呼ばれ、世界の時間距離を大幅に短縮した。グローバル化の進展とともに、国際的な移動の拠点となる空港の重要性はますます高ま^(f)っており、日本では **甲** の新東京国際空港、東京都の東京国際空港、そして **乙** の関西国際空港などが整備されている。アメリカ合衆国のように広大な国^(g)では、国内路線間の相互連結を円滑にする拠点空港もある。

〔1〕 文中の **A** ～ **G** に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

〔2〕 文中の **イ** に当てはまる港湾都市はどこか、次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

㉑ ニューカースル（ニューカッスル）

㉒ パース

㉓ メルボルン

〔3〕 文中の **甲** ・ **乙** に当てはまる都道府県名を答えよ。

〔4〕 下線部(a)に関して、大陸横断鉄道が敷かれていない国として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

㉔ オーストラリア

㉕ カナダ

㉖ ブラジル

㉗ ロシア

〔5〕 下線部(b)に関して、日本の新幹線の東京駅－新大阪駅間が開通した年代を、次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ

㉘ 1950年代

㉙ 1960年代

㉚ 1970年代

㉛ 1980年代

〔6〕 下線部(c)に関して、自動車がひろく普及し、自動車への依存度が高まる現象は何と呼ばれるか、最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

㉜ パークアンドライド

㉝ マース

㉞ モータリゼーション

㉟ モーダルシフト

〔7〕 下線部(d)に関して、このように複数の店舗が集まる大規模な商業施設は、一般に何と呼ばれているか、最も適切な名称を答えよ。

〔8〕 下線部(e)に関して、貨物がある国の港から別の国の港へ船舶で輸送し、その後、陸路で目的地まで輸送する方式は何と呼ばれるか、最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、符号で答えよ。

㊶ コネクテッドカー

㊷ バルクキャリア

㊸ フリーゲージトレイン

㊹ ランドブリッジ

〔9〕 下線部(f)に関して、国際的な移動の拠点となる空港は、自転車の車輪の一部にたとえて何と呼ばれているか、答えよ。

〔10〕 下線部(g)に関して、ジョージア州のピードモント台地上にある州都には、国内路線の集中する国際空港が立地している。その都市名を答えよ。